



平成30年7月9日

帯広開発建設部

**第59回帯広開発建設部入札監視委員会の審議概要について**

平成30年6月14日に開催された第59回（平成30年度の第1回目）帯広開発建設部入札監視委員会について、その審議概要を別紙のとおりお知らせします。

【問合せ先】 国土交通省 北海道開発局 帯広開発建設部

契約課 課長 米田 雅己 電話 0155-24-2903（内線 241）

契約課 課長補佐 池崎 敬 電話 0155-24-2903（内線 242）



帯広開発建設部ホームページ <http://www.hkd.mlit.go.jp/ob/index.html>

## 第 5 9 回 帯 広 開 発 建 設 部 入 札 監 視 委 員 会 審 議 概 要

開催日及び場所	平成 3 0 年 6 月 1 4 日 (火) 帯広開発建設部 第 3 ・ 4 会議室	
委 員	金山紀久 (帯広畜産大学グローバルアグロメディシン研究センター センター長)、後藤政則 (税理士)、高橋勝坦 (帯広商工会議所会頭)、竹川博之 (公認会計士) (五十音順・敬称略)	
審議対象期間	平成 2 9 年 1 0 月 1 日～平成 2 9 年 1 2 月 3 1 日	
議 事	<p>(1) 部局等が発注した工事及び建設コンサルタント業務等に係る入札・契約手続の運用状況等に関する報告</p> <p>(2) その他報告事項</p> <p>(3) 抽出工事及び建設コンサルタント業務等に関する当番委員の報告</p> <p>(4) 抽出工事及び建設コンサルタント業務等に係る競争参加資格の設定の理由、経緯等に関する説明並びに審議</p>	
委員からの意見・質問、それに対する回答等		
意 見 ・ 質 問	回 答	
<p><b>◇部局等が発注した工事及び建設コンサルタント業務等に係る入札・契約手続の運用状況等に関する報告</b> ・意見・質問なし</p> <p><b>◇その他の報告事項</b> ・意見・質問なし</p> <p><b>◇抽出案件に関する説明及び審議</b></p> <p><b>【十勝川改修工事の内 明野 7 線河道掘削工事】</b></p> <p>・技術者育成型の年齢評価の工事であり、40歳未満の技術者を配置予定として参加する者も増えてきている。若手の技術者の配置を促すためにも 1 点の配点では少ないのではないかと。</p> <p>・優良工事表彰の加点も大きいと、表彰される企業は委員会等で審議されて決定しているのか。</p> <p>・書面による施工能力の確認において、参加者の間で評価点の差がつきにくくなってきているが、参加者が書類の作成に慣れてきたことによるものか。</p> <p>・入札した 6 者のうち、調査基準価格同額が 4 者、予定価格直近が 2 者と入札額に 2 極化がみられるが、理由は何が考えられるのか。</p>	<p>・従来は年齢による配点は設定していなかったが、若手技術者の配置を促し育成するため、1 点の配点を設けて試行的に行っている段階であり、総合評価における 1 点の配点は大きなウェイトを占めていると考えている。</p> <p>・部内で審議して本局に推薦し、本局でも審議されて決定する。</p> <p>・工事内容等を考慮して、当該工事で留意する事項の項目を決めているが、設問の内容によっては差がつきづらい場合もあると思われる。</p> <p>・予定価格や調査基準価格を積算する能力は各者同等と思われるが、利益をどのくらいに設定して間接費を調整するかにより入札額に差が出たものと思われる。</p>	

委員からの意見・質問、それに対する回答等	
意見・質問	回答
<p><b>【十勝川改修工事の内 大森河道掘削外工事】</b> ・意見・質問なし</p> <p><b>【一般国道242号 足寄町 上利別法面防災外一連工事】</b> ・書面による施工能力の確認を行う工事と、行わない工事はどのように決めるのか。</p> <p>・参加者が1者では、競争になっていないのではないか。</p> <p><b>【十勝川改修工事の内 幌岡地区河川改修工事】</b> ・一般土木で発注しているが、伐木等であれば工事区分は維持や造園でもいいのではないか。</p> <p>・伐木した木はどうしているのか。</p> <p><b>【十勝川相川築堤河岸保護工設計外業務】</b> ・調査基準価格と同じ入札額となっているが、業務においても調査基準価格を簡単に算出できるのか。</p> <p><b>【中山間地域における道の駅等を拠点 とした自動運転サービス実証実験支援業務】</b> ・業務内容を確認した段階では、開発局が管轄する業務ではないと思うが、どのような理由で開発局が発注を行っているのか。</p>	<p>・工事内容、技術的難易度、予定価格等を考慮して、書面による施工能力の確認の有無を決めている。</p> <p>・結果的に参加者が1者であったが、一般競争方式で広く参加者を募っており、競争性は確保されていると考えている。</p> <p>・工事内容は伐木、除根であるが、工事面積が517,000㎡であり、工事の規模や金額が大きいので一般土木とした。</p> <p>・チップ材として利用したり、地域住民に配布するなどの有効活用を念頭におき、自治体とも相談しながら処理している。</p> <p>・調査基準価格算出については開発局のホームページにも載っており、入札説明書にも資料が添付されているので積算は可能と考えている。</p> <p>・関係する官署等との連携した取組であり、道の駅の利用、自動運転のための道路の整備や管理のあり方など道路管理者に係る部分が大きく、開発局が中心的な役割を担っていることから当部において発注したものである。</p>
<p><b>【委員会による意見の具申又は勧告の内容】</b></p> <p>なし</p>	

